

# 令和 5年度予算見積調書

課室名: 医療人材課  
 担当名: 看護・医療人材担当  
 内線: 3532

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業				
S136	埼玉県訪問看護教育ステーション事業費			一般会計	衛生費	医薬費	保健師等指導管理費	看護指導費				
事業期間	令和元年度～令和6年度	根拠法令				針路分野施策	03 介護・医療体制の充実 0301 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-8				
1 事業概要	<p>急速な高齢化の進展に伴い、医療・介護の需要が高まっており、本県の令和7年の在宅医療の必要量は平成25年の約1.8倍になると見込まれている。</p> <p>こうしたことから、在宅医療の要である訪問看護師を育成し、地域包括ケアシステムの構築に結び付けるとともに、全県展開する在宅医療連携拠点の活動をサポートすることによって在宅医療体制の整備を図る。</p> <p>埼玉県訪問看護教育ステーション事業 5,687千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      訪問看護ステーションに対し、ZOOMを中心とした実践的な研修の機会を提供できる体制を構築するため、人材育成支援の経験が豊富で地域の医療機関との連携が多数ある訪問看護ステーションである「教育ステーション」において県内の訪問看護ステーションの人材育成を行う。                      令和5年度からは既存の3教育ステーションに加えて、教育ステーションに協力する「協力ステーション」を教育ステーションの前段階として設置し、質の高い訪問看護研修の全県的な均てん化を図る。                      なお、協力ステーションは、令和5年度は3か所、令和6年度は4か所設置を目指し、翌年度には教育ステーションと位置づける。                      教育ステーションは令和7年度には2次保健医療圏各1か所で計10か所を目指す。</p> <p>(2) 事業計画                      教育ステーションが県内全域を対象に下記の研修を実施する。                      ア 専門知識や技術習得を目的とした手技演習等                      イ 地域の医療機関等と連携した研修                      ウ 他の訪問看護ステーションの職員等とのつながり構築（意見交換）の場の提供（ア～ウを合わせて、主にZOOMにより、県内合計で年21回程度）                      エ 在宅医療現場での新任職員の実践トレーニング（エを対面研修により、県内合計で年30回程度）</p> <p>(3) 事業効果                      ZOOMを中心とする実践的な研修が受けられる仕組みを整備することで、県内の訪問看護師の人材育成を図り、在宅医療体制の整備を図る。</p>								
2 事業主体及び負担区分	(県 10/10)											
3 地方財政措置の状況	なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1人=9,500千円											
予算額		財 源 内 訳									一般財源	前年との対比
		繰入金										
決定額	5,687	5,687									0	△1
前年額	5,688	5,688									0	

## 事業内訳書

事業名	埼玉県訪問看護教育ステーション事業費		
単位事業名	埼玉県訪問看護教育ステーション事業	予算額	5,687千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	5,687	△1	(一社) 埼玉県訪問看護ステーション協会への補助金
合計	5,687	△1	